２００３年１０月２８日

日本電気株式会社
株式会社日立製作所

流通システム開発センターの「メッセージ交換手順ガイドライン」に基づいた流通業界向け XML-EDI の接続実証実験に初めて成功

日本電気株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:金杉 明信、以下 ＮＥＣ)および株式会社 日立製作所(本社:東京都千代田区、執行役社長:庄山 悦彦、以下日立)はこのたび、財団法人流通システム開発センターが２００２年度調査研究事業として開発した、インターネットを利用した XML-EDI(電子データ交換)を実現するための流通業界におけるメッセージ交換方式「メッセージ交換手順ガイドライン」、および標準メッセージ形式「JEDICOS-XML メッセージ」(注 1)に準拠した接続実証実験に初めて成功いたしました。

現在の流通業界を取り巻く情勢は、消費減退による売上低減、消費者ニーズの多様化、国際企業の進出など厳しい環境にあります。こうした環境を乗り切るためには、自社内に加え取引先を含めたバリューチェーンの構築と、全体を通した業務の最適化、グローバル化が求められております。このバリューチェーン構築実現のために、従来の EDI に比べて通信コストを大幅に削減でき、柔軟性の高いシステムの構築可能な「インターネットを利用した XML-EDI」へのニーズが高まっております。

ＮＥＣおよび日立では、このたびの接続実証実験の成功により、「メッセージ交換手順ガイドライン」および「JEDICOS-XML メッセージ」が実業務に適用可能であることを確認しました。NEC と日立は「メッセージ交換手順ガイドライン」および「JEDICOS-XML メッセージ」を活用したシステムの提案活動を積極的に推進してまいります。

「メッセージ交換手順ガイドライン」は、電子商取引分野における国際標準仕様のメッセージ交換方式「ebXML MS(メッセージングサービス)」および「ebXML CPA(相互通信規約)」(注 2)に基づき、流通業界で必要とされる機能の絞込みや、企業間での遵守項目を規定したものであります。

また、「メッセージ交換手順ガイドライン」や「JEDICOS-XML メッセージ」は、日本チェーンストア協会や繊維ファッション SCM 推進協議会などの各団体において、推奨メッセージ交換方式や、各業界の XML-EDI 標準を作成するための基盤として活用することが表明・期待されております。

このたびの実証実験は、「メッセージ交換手順ガイドライン」に完全に準拠したものであり、主な概要は以下の通りであります。また、実証実験では、ＮＥＣの「BizEngine(ビズエンジン)」および日立の「Cosminexus(コズミネクサス)」を基盤製品として活用しております。

(１)インターネットを利用したメッセージ交換方式として、電子商取引分野における国際標準仕様のメッセージ交換方式である「ebXML MS」を採用しました。また、ネットワーク上でのセキュリティを確保するために、データ暗号化技術「SSL」を利用したメッセージ交換を行ないました。

(２)２００１年度および２００２年度に流通システム開発センターが開発した標準メッセージ形式「JEDICOS-XML メッセージ」のうち、商品マスタ・発注・入荷予定・請求・支払案内の計５種のメッセージを使用し、業務的な流れを検証しました。

(３)２００２年度の調査研究事業ではオプション項目となっている、アプリケーションレベルでのメッセージ確認までの動作の流れを検証しました。

このたびの実証実験の成功に関する財団法人流通システム開発センターのコメントは別紙をご参照ください。

以上

(注 1)JEDICOS-XML メッセージ:
流通システム開発センターが制定した、国内の流通業界向けの EDI 標準「JEDICOS」をベースに、国際標準である UN/EDIFACT に準拠しつつ、日本独自の商習慣に対応するようにした XML-EDI 標準。

(注 2)ebXML: electronic business using XML の略。XML(拡張可能なマーク付き言語)を活用した電子商取引向けの国際標準仕様。複数の仕様書から構成され、国連の機関である UN/CEFACT と、非営利の XML 関連標準化団体 OASIS で開発・保守されている。

※記載されている会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

＜本件に関するお客様からの問い合わせ先＞
ＮＥＣ　プロセス･ＣＰＧソリューション事業部
ソリューション営業部　小川
電話：０３－３４５６－８２１９
ｅﾒｰﾙ：a-ogawa@da.jp.nec.com

株式会社 日立製作所　ソフトウェア事業部 企画本部 計画部　村上
電話：０４５－８６２－８９９６
ｅﾒｰﾙ：murakata@itg.hitachi.co.jp

＜別紙＞

このたびの実証実験の成功に関する財団法人流通システム開発センターのコメント

XML-EDI は今後の電子商取引の中核技術として大きな注目を浴びている。このため（財）流通システム開発センターとしては、その円滑な導入を図る観点から、2001 年度及び 2002 年度において、経済産業省の予算により、経済産業研究所からの委託を受けて XML-EDI の基盤となる「JEDICOS-XML メッセージ」及び「メッセージ交換手順ガイドライン」を開発した。

今回発表された接続実証実験は、当センターが開発した XML-EDI 標準仕様への対応を業界で初めて実現したものである。

また、単一企業のソフトウェアではなく、異なる企業のソフトウェアによる接続確認は、現行の EDI システムの見直しを考えるユーザや、新たに EDI システムの導入を検討しているユーザなどから期待されていた事項である。

これを契機に当センターが開発した標準仕様に基づく XML-EDI の実用化が促進されることを期待したい。

当センターとしては、今後とも XML-EDI の基盤となるメッセージその他の標準化に努めることとしている。

財団法人 流通システム開発センター
専務理事　坂井　宏

このニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。
発表日以降に変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。